

報道関係各位

2016年3月24日
学校法人 成城学園

<創立 100 周年プロジェクト「いのちを守り合う成城ファミリー」>

合言葉は「成城学園からいのちを救う輪を広げよう」

一次救命処置(Basic Life Support 以下 BLS)講習会

2年間での累計受講者 7,000 人 突破！

学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長：渡 文明）は、学園創立 100 周年記念「いのちを守り合う成城ファミリー」プロジェクトとして、【成城学園からいのちを救う輪を広げよう】を合言葉に、成城学園内外の生徒や学生、教職員、保護者などを対象に胸骨圧迫と AED の取り扱いを学ぶ BLS 講習会を定期的に開催し、このたび累計受講者が 7,000 人を突破いたしました。

「いのちを守り合う成城ファミリー」プロジェクトは、急なアクシデントで心停止や呼吸停止に陥ってしまった人が発生した場合の確実なファーストレスポonder（救急車が到着するまでの一次救命処置を行う人）を増やすプロジェクトです。プロジェクト 2 年目となる 2015 年度は、BSL（一次救命処置）講習会を約 60 回実施して年間受講者数 4000 人を達成し、このたびプロジェクト開始から 2 年間での累計受講者が 7,000 人を超えました。

いのちを救う『ファーストレスポonder』を増やす！

本プロジェクトで定期的に開催する BLS 講習会は、日本ライフセービング協会公認の BLS インストラクターの資格を持つ成城学園初等学校、中学校高等学校の 3 人の教員が講師を務め、成城大学・高等学校のライフセービングクラブの学生や生徒がサポートに入り開催しています。教員はもちろんですが、サポートする成城学園の学生、生徒たちの細やかなアドバイスが、受講者から大変好評を得ています。本



年度は、新たに大学の体育部連合会所属団体の学生が受講するなど、学園関係者の受講者層を広げるとともに、学外への出張講習も行い、世田谷区立中学校の生徒や教職員の方を中心に、その他地域でも広く受講いただきました。来年度も引き続き、【成城学園からいのちを救う輪を広げよう】を合言葉に、「いのちを守り合う成城ファミリー」プロジェクトを続けていきます。



大学体育部連合会所属団体の学生



成城学園中学校生徒



世田谷区立中学校の生徒

■ 2015年度 BLS 講習会実施概要 (3月15日現在)

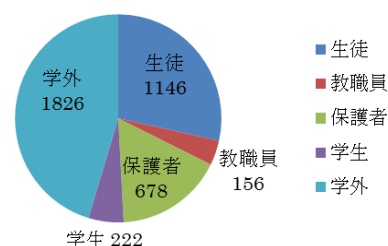
講習会実施件数：57件

受講人数：4028人

主な受講者：

成城学園教職員、中学生、高校生、大学生（教職課程履修者など）、保護者、世田谷区立中学校の生徒・教員（保健や総合学習の授業の一環として）、その他地域の運動部所属生徒を中心とした中学生・高校生など

BLS講習会 受講者内訳



46体のダミー人形を使った〈いのちを救うための〉実践的講習会

成城学園は、46体のダミー人形と29基の体験版AEDを保有しています。これだけの体制が整った学校は、他にないのではないかと自負しています。このような設備を利用し、実技中心の〈いのちを救うための〉実践的講習会を実施しています。

講習会では、日本の救命救急の現状などに関する講義、死戦期呼吸の様子や心肺停止状態から蘇生した事例などのVTRによるイメージを喚起、実際のAEDの操作や胸骨圧迫、フェイスシールドを使用した人工呼吸の実習などを行います。

歌で覚える！「BLSの歌」

「BLSの歌」は、毎年成城学園中学校1年生が参加する学校行事「海の学校」でBLS講習を行うにあたり、「生徒が音楽に合わせて分かりやすくBLSの手順を覚えられるように」と発案されたものです。2009年の夏に初めて作成して以来、「大学生になった今でも歌える」という学生がいるほどインパクトがあり、生徒に親しまれています。

2015年にBLSのガイドラインが変更されたことを受けて、最新バージョンに更新。「呼吸を見る」「胸プッシュ」などBLSのイロハを細かく教えています。選曲や編曲は中学校音楽科の教員が協力し、映像は高等学校ライフセービングクラブのメンバーが編集と撮影を行った、手作りの成城学園完全オリジナルです。NGで10回も撮り直し、2分48秒の映像が仕上がりました。

※成城学園公式YouTube「BLSの歌」 <https://www.youtube.com/watch?v=GTcfG7-p2Wk>



■ ライフセーバーオブザイヤー選出 ■

このプロジェクトで講習会の講師を務めている高等学校体育科の島田貴史教諭が、「ライフセーバーオブザイヤー2015」（教育部門）に選ばれました。この賞は、年間を通じてライフセービング教育活動の普及、発展に著しく貢献した個人または団体に与えられるものです。島田教諭は「この度は、日本ライフセービング協会から名誉ある賞を頂いたことを光栄に思っております。これは、学園のプロジェクト活動が日本のライフセービングにおいて評価されたことを意味します。この評価を我々の活動のスタートと考えて、今後も学園や学外の方々へのBLS普及活動にささやかながら力を注いで参ります。」という喜びの声と今後の抱負を語りました。

